



Lions Clubs International
FOUNDATION

「五感で遊ぶ庭」で 子どもの能力が目覚める



「五感で遊ぶ庭」で子どもの能力が目覚める



米国ネブラスカ州のフリーモント公立学区事務局の廊下が、オアシスに変身しました。感覚を刺激するこの中庭は、五感（視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚）すべてで楽しめる場所です。障害のあるなしにかかわらず、子供にも、青年にも、家族にも、この中庭は開かれています。岩の柱から流れる水は、視覚、触覚、聴覚を刺激します。きらめく光と反射が気持ちを和らげます。ガラス天井からの自然光の中、感覚刺激テーブルでは、心を落ち着かせる風鈴の音を聞きながら家族が集って学んだりゲームで遊んだりします。

「五感で遊ぶ中庭」は、このような場所がなければ安全・快適に遊ぶことが難しい特別なニーズを持つ子供たちのための空間です。この中庭は、ホビットハウス、化石ガーデン、ツリーブランコ、さらには「スヌーズレンルーム（治療と安らぎをもたらす様々な機能があり、子供たちを刺激する空間）」まで備えています。この場所は、新しい触感を発見しながら、前向きな態度や、違いを受け入れる姿勢を促し、さらに学習能力や運動機能の発達を促進します。

感覚的な刺激を与えるだけでなく、「五感で遊ぶ中庭」の存在は、視覚障害から動作制限、触覚過敏まで、さまざまな特別支援の必要性についてコミュニティの意識高揚にも一役買っています。

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) は、フリーモント公立学区「五感で遊ぶ中庭」の支援のため、38-O地区ライオンズに7万5,000ドルの交付金を支給しました。

ライオンズの地区が大規模な人道奉仕事業を企画・実施するための交付金についての詳細は、lCIF.org/Grantsをご覧ください。

ライオン メアリー・ロビンソン

L. ロビンソンは、人間の精神が生み出す力の生きた証であり、これからも地域に光と命を与え、ライオンズのモットー「ウィ・サーブ」を体現し続けます。

ライオン メアリー・ロビンソンは、視覚障害教育の教員で、フリーモント公立学区の公認オリエンテーション及び運動障害スペシャリストです。全米でも最も高い水準の視覚障害教育者の一人であるL. ロビンソンは、全盲の子供が母親と園芸を始めたことがきっかけで大きな進歩を遂げたという話を聞いて、この中庭の着想を得ました。夢の実現に向け、彼女は所属するライオンズクラブ、近隣の他クラブ、地元の非営利団体や、芸術家、建築家、教育委員会と時間をかけて協力しました。しかし、中庭の公開数ヶ月前に、L. ロビンソンが深刻な診断を受けたことによって、計画は急ぎょ中断を余儀なくされました。単なる疲労だと思っていた症状が、実は急性骨髄性白血病(AML) だったのです。AMLは、血液および骨髄の癌で、白血病の中でも最も生存率が低い悪性のものです。

持ち前の明るさと、家族や地域の人々からのサポートにより、彼女は諦めることなく病と闘いました。治療は過酷で、時に大変な体調不良を引き起こしましたが、彼女が笑顔を失うことはありませんでした。

ライオン メアリー・ロビンソン



L. ロビンソンが治療を受けている間、センサリー・コートヤードの公開は延期されました。24回にわたる抗がん剤治療を乗り越えて彼女はガンを克服し、ついに中庭が公開されると数々の称賛の声が寄せられました。



スヌーズレンルーム | 新たな目覚め — 安全な場所の大切さ



スヌーズレンルームは、無数のセラピー治療に応用できる、多感覚リラックス空間です。不安を軽減し、反応を誘発し、コミュニケーションを促進することに役立つことが分かっています。照明や音、手触り、匂いが、興奮を抑えたり、積極的な探索行動を促します。部屋に入った人は、環境の一部をコントロールすることも、しないで利用することもできます。

スヌーズレンルームは、自閉症や、行動に心配のある子供、視力障害者や、認知障害のある大人にも役立つ重要ツールです。



“

「自分の子供が自閉症や発達の違いなど、特別支援の対象者として診断されると、親はとたんに、医師や家族、友人、そして社会から『できない』と言われる物事で頭がいっぱいになってしまいます。そもそも他の子とは対等になりえない分野について、ああでもないこうでもない議論するようになるのです。私は子供たちのためにできることは何でもしてあげたいと思っていました。しかし、こうした『できない』ことを身につけさせられるように、私にできないかと、資料をかき集めて調べるうちに、子供たちが『できる』素晴らしいことの数々を見失いはじめていました。センサリー・コートヤードがそれに気づかせてくれました。ここは、彼らが輝き、学べる空間です。足りない能力を責めることなく、家族で楽しく過ごすことができます。この地域には、私たちが家族で一緒に楽しめる場所は多くありません。こうした団らんの時間はかけがいのないものであり、一緒にいられる一瞬一瞬が何にも代えがたいものです。センサリー・コートヤードがこれを実現してくれたことに感謝しています」

— ネブラスカ自閉症センター理事会 サマー・マウ

”

エイデンの場合 | やっと見つけた成功体験

エイデン・クロムは、普通の3歳児と同じく、元気で、ふざけるのが大好きで、頑固です。しかし彼の身体は、触感を、恐怖、痛み、または不快感として知覚する「触覚防衛反応」を示します。触覚防衛反応は、感覚統合障害の一種で、エイデンの脳は五感を通じて受信する情報をうまく処理できないのです。



エイデンは自分にはどうしようもない触覚過敏のせいで、年齢ごとの発育基準から遅れていました。特に、足の裏への刺激の痛みがとても大きかったのです。膝でしか歩くことができませんでした。触覚防衛反応は、学習能力には影響がありませんが、当然さまざまなことを学ぶ際の妨げになります。

当初、エイデンは「センサリー・コートヤード」の多くの要素を楽しむことができず、スヌーズレンルームのボールプールの縁に座るのがやっとでした。しかし、先生が数週間にわたって根気強く誘い続けました。回を重ねるごとに少しずつボールプールに近づいて行き、つま先を入れてみた後、ついに飛び込みました。今ではプールの中に座ってボールに埋もれたり、馬にまたがったり、両手でボールを受け取ったり、硬い椅子に座ることもできます。恐れることなく化石ガーデンを探索し、ぬかるんだ泥の穴を踏みしめています。

エイデンを大切に思う人々の根気と、子供を伸ばすセンサリー・コートヤードの安全な環境のおかげで、エイデンは触覚過敏を乗り越える大きな一歩を踏み出しました。主な発達の遅れを次々と取り戻し、今では入園に向けて準備万端です。

“

「私たちチームは、エイデンの触覚防衛反応のために、数々の手段を試しました。センサリー・コートヤードの存在は、異なる感覚刺激を与えることでエイデンの目標をより実現に近づけ、また周囲の理解も深めています。また、体験型の実地教育をぐっと身近なものにしてくれました」

— 視覚障害児教師 メアリーパット・ピスティヨ

”

あふれる感謝の気持ち | ロアする財団

“

教育的なワンダーランド、というメアリーのビジョンが現実になったことは、児童たち、特に障害のある子供たちに驚くべきメリットをもたらしています。メアリーの強い意志と、たくさんの方の努力、そして地域の方々とライオンズクラブ国際財団からの温かい寄付があったからこそ実現したのです。

－フリーモント公立学区教育委員長
サンディ・プロスコベク

センサリー・コートヤードに息子を連れてきて、新しい感覚と刺激を受けるたびに目を輝かせるのを見るのが私の楽しみです。見回すと、ほかの子供たちと保護者も皆笑顔であふれています。素晴らしい光景ですよ。

－ネブラスカ州フリーモント在住
保護者 ミランダ・ロング

この素晴らしい空間のおかげで多くの人の人生が変わっていることを知り、大変嬉しいです。この夢の実現には、ライオンズクラブ国際財団が非常に大きな役割を果たしてくれました。この事業のまさにファウンデーション(基盤)、確固たる支えであり、皆さんからの絶大なご支援なしには実現はあり得ませんでした。感謝の気持ちは、どんな言葉でも表しきれません。

－フリーモント公立学区
視覚障害者プログラム
ライオン メアリー・ロビンソン

”

芸術...そして喜びの賜物

米ネブラスカ州オマハの「デラトール・アートデザイン」のオーナー、マイケル・トーレスは大道具や展示物などを専門とする有名なアーティストです。センサリー・コートヤードに対するL. ロビンソンの熱い思いと、トーレス氏の賛同と創意が合わさり、訪れる人の五感に訴え、心の目を開く空間が誕生したのです。

“

「冒険と発見が今日の自分を創り上げている」と、トーレス氏は言います。「この町の子供たちには、この空間でイマジネーションに刺激を受け、また好奇心を持ち帰って欲しいと思っています」

”

センサリー・コートヤードでの仕事は、彼にとっては喜びでした。何時間もかけて、コートヤードの多くの要素の制作、彫刻、手塗りを自ら手がけたのです。



さらなる拡大に向け | ライオンズのインパクト

多くの方には初めて、そしてすでにご存じの方には改めて、センサリー・コートヤードについてご紹介いたしました。センサリー・コートヤードは日々、子供たちや、家族、そして地域全体に大きなインパクトを与えています。しかしライオンズの皆さんはご存じの通り、奉仕事業に終わりはありません。L. ロビンソンは、コートヤードを拡大し、さらに多くの知覚体験を導入することを夢見ています。例えば、キャンプ体験や宇宙探索コーナーを設置することができます。アートや味覚体験の要素を増やすことも実現可能です。どんな分野のライオンズ奉仕でもそうですが、ニーズが増えれば、奉仕も増えるのです。

SensoryCourtyard.com

このようなストーリーを交付金で実現するライオンズクラブ国際財団の「キャンペーン100: 奉仕に力を」の使命について、詳細をご覧ください。

LCIF.org/BE100





キャンペーン100が、高齢者、障害者、女性、孤児、その他社会的経済的困窮者の独特のニーズに対応するプログラムをいかに後援・実施していくかについては、[LCIF.org/BE100](https://lcif.org/BE100)からご覧ください。

センサリー・コートヤードのような事業を支援するため、今すぐ「奉仕に力を」資金に寄付をお願いいたします。

今すぐ寄付を！



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオンズクラブ国際財団
300 W. 22nd St. | Oak Brook, IL 60523-8842
USA+1.630.571.5466 | lcif.org/BE100